

# 認知症で地域づくり

平成30年9月27日  
宮崎県門川町福祉課



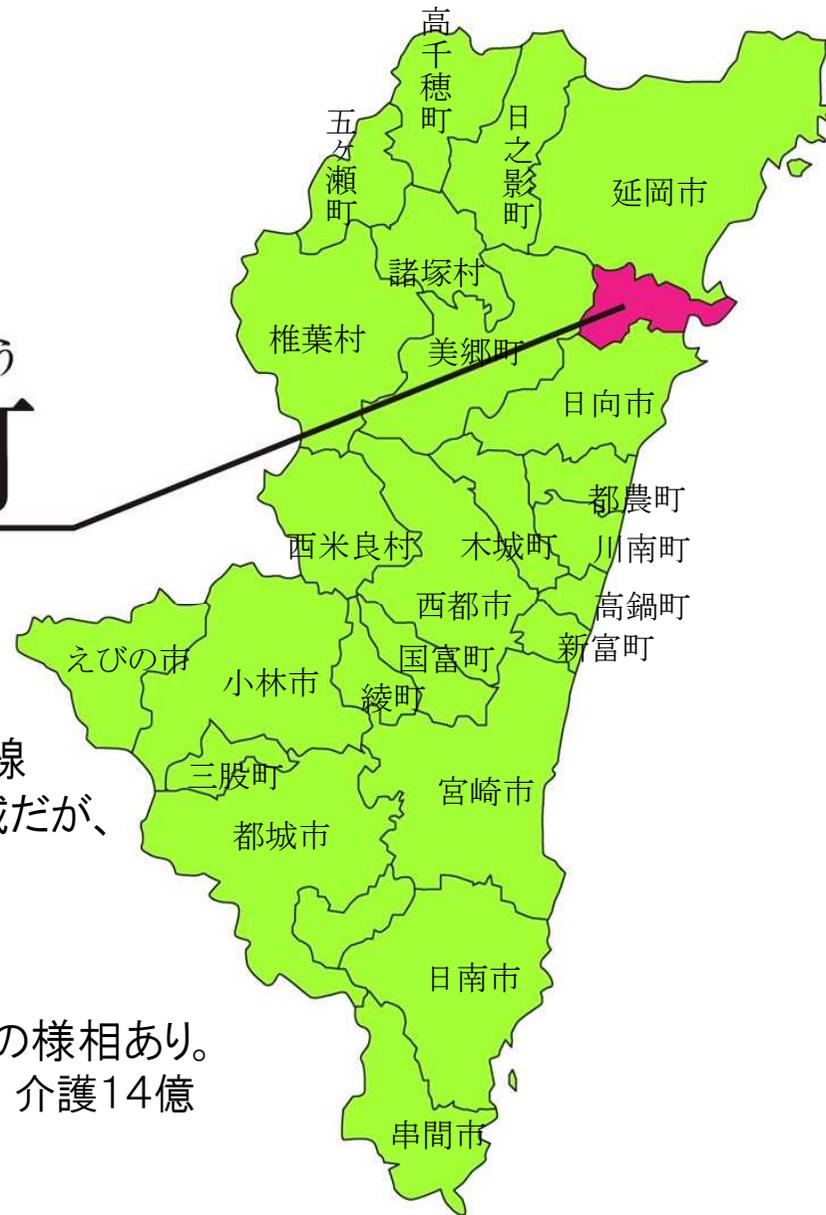
# 門川町

かどがあちよう

# 宮崎県 門川町

かどがわちょう

人口17,866人 総面積120.5km<sup>2</sup>  
町総面積の84%を森林が占める。  
残り16%は、南北延長4kmほどの国道10号線沿線に広がる平野で、日常生活圏域は1圏域だが、4つの小学校区域が小圏域として残っている。  
昭和の時代に「お魚の町」として栄えた山あり、川あり、海ありの農林水産業の町。  
延岡・日向両市の間位置し、ベッドタウンの様相あり。  
予算規模：一般会計70億、国保45億、後期4億、介護14億  
職員数120名

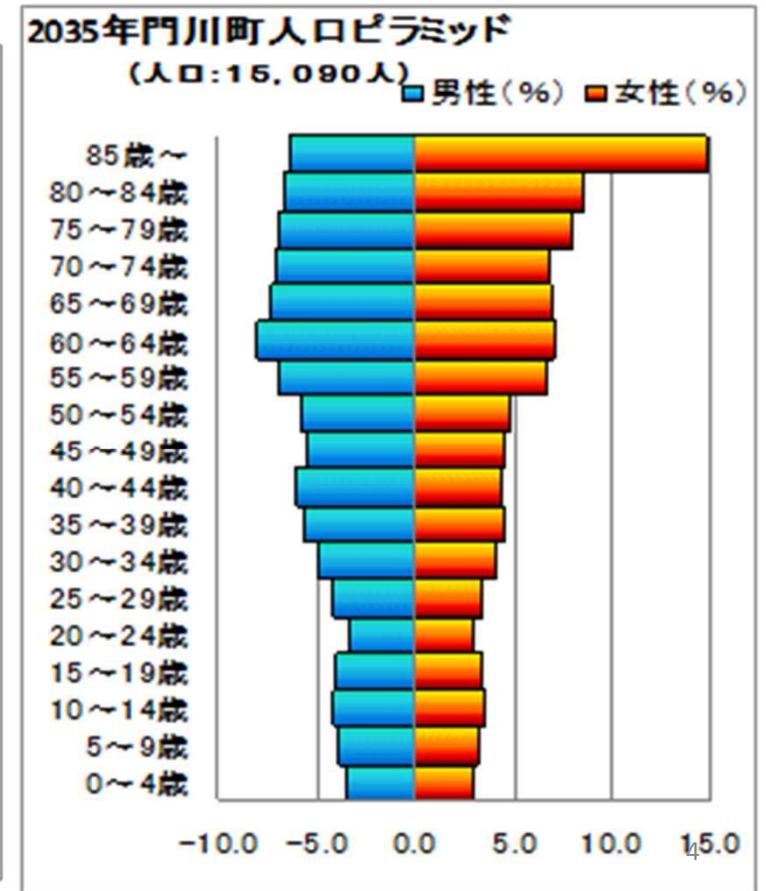
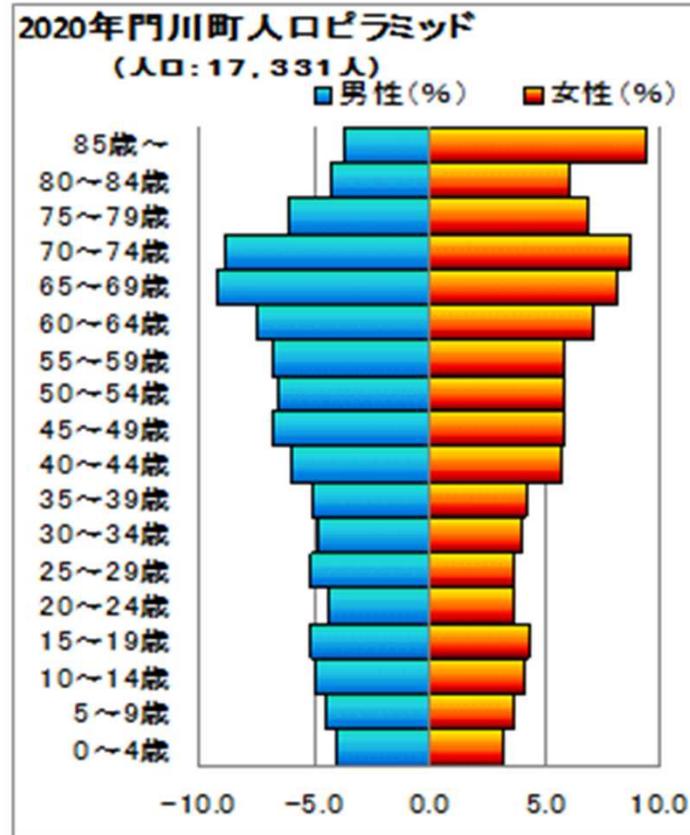
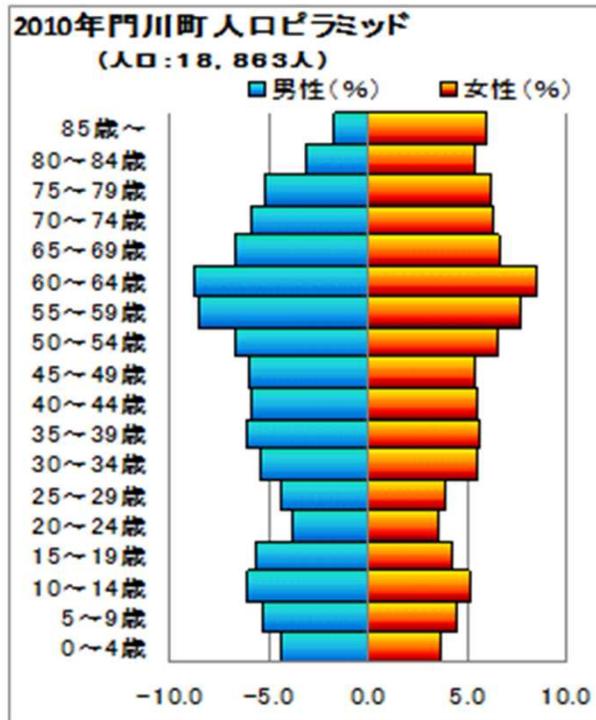


# 門川町の高齢化率 32.0%

## 65歳以上5,717人、総人口17,866人

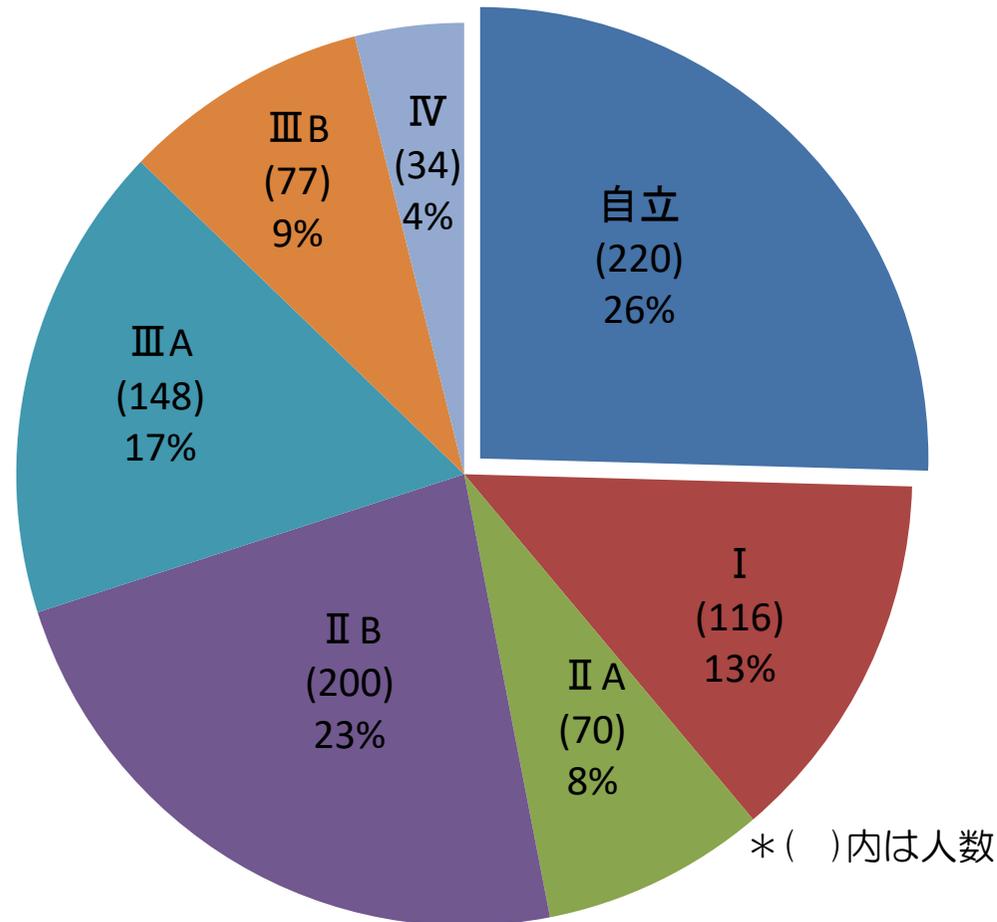
\*平成29年10月1日現在「宮崎県の人口統計」

### 将来の人口ピラミッド



2017年(平成29年)

# 要介護認定者に占める認知症高齢者の割合



認定率 **14.9%**

要介護認定者 **865人**のうち

認知症高齢者

自立度 I 以上 **645人 (74%)**

自立度 II 以上 **529人 (61%)**

給付費 **13億2千万円/年**

\* 平成29年11月末時点 要介護認定データ 福祉課調べ<sub>5</sub>

# 門川町の認知症高齢者数

\* 平成29年11月末時点 要介護認定データ 福祉課調べ

	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2025年 (平成37年)
65歳以上の 高齢者数	5,505人	5,615人	5,713人	5,913人
認知症高齢者の日常生活自立度判定基準 Ⅱ以上	400人 (7.2%)	485人 (8.6%)	529人 (9.2%)	946人 (16%)
認知症高齢者の日常生活自立度判定基準 Ⅰ以上	—	—	645人 (11.2%)	1,183人 (20%)

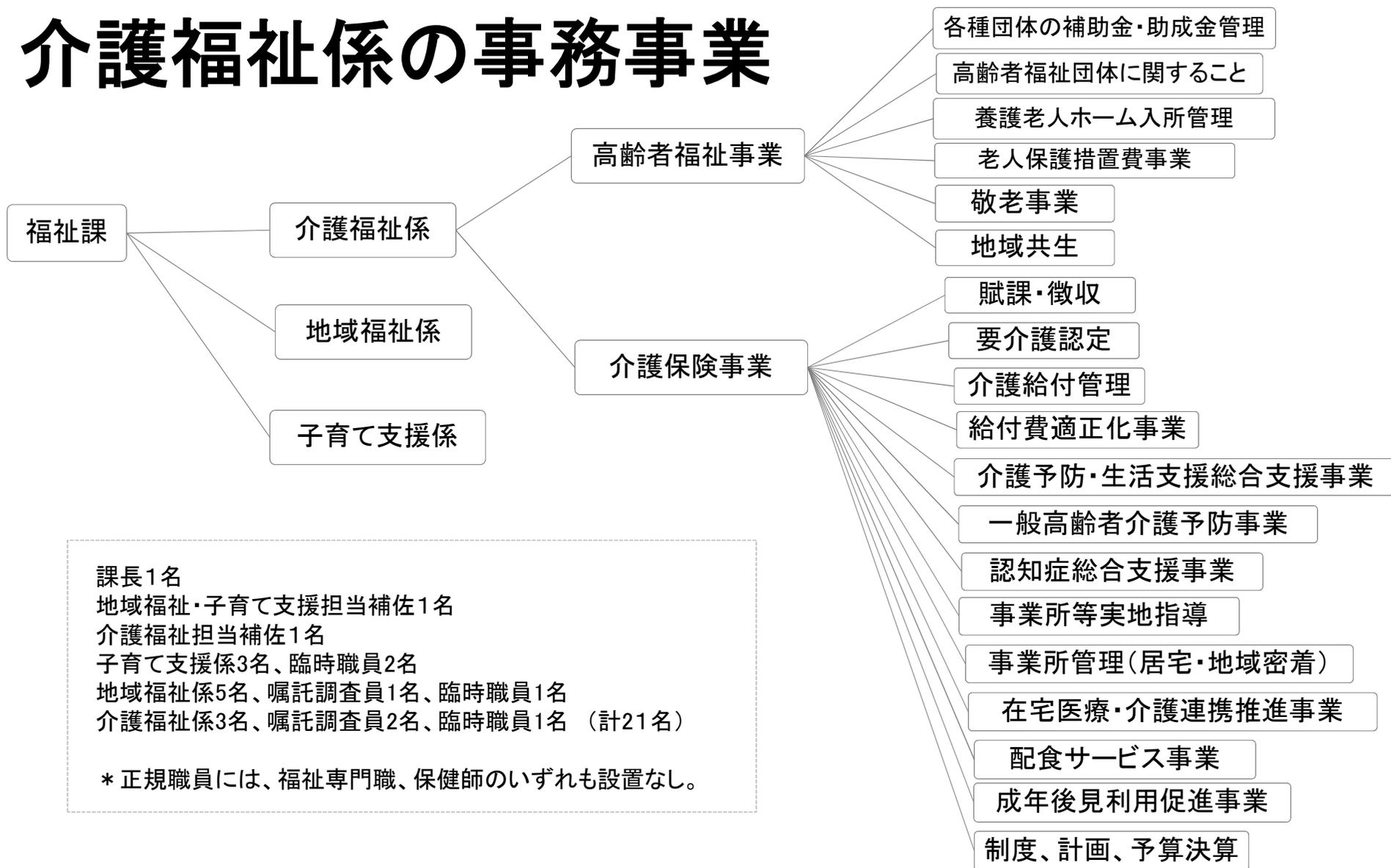
参考:要介護認定データを基に、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者割合を推計

将来推計 (年)	平成22年 (2010)	平成24年 (2012)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 Ⅱ以上	280 9.5%	305 9.9%	345 10.2%	410 11.3%	470 12.8%

※下段は65歳以上人口に対する比率

(参考:平成24年8月24日老健局高齢者支援課認知症・虐待防止対策推進室公表資料)

# 介護福祉系の事務事業



# 認知症施策の推進体制

## 認知症施策検討委員会

- 町長の諮問機関
- 施策の評価、重要事項の決定

## 福祉課

- 介護福祉係
- 認知症施策総括

## 社会福祉協議会

- 地域包括支援センター
- 社会福祉協議会
- 総合相談事業
- 配食サービス
- 介護予防ケアマネジメント
- 高齢者クラブ事務局
- 包括的・継続的ケアマネジメント
- 生活支援コーディネーター
- 一般高齢者介護予防事業
- 支え合う協議体事務局
- 認知症施策担当者
- 法人後見センター

## 田中病院

- 初期集中支援チーム

## 地域支援推進員

- 日向病院・小規模多機能

# 組織の役割(29年度)

(平成29年4月19日 開催 第1回合同会議提案/了承分)

組織	活動内容
認知症初期集中支援チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ルールとツールの検討・整備</li> <li>●啓発活動のための地域訪問（公民館・サロンほか）</li> <li>◎対象者の訪問・支援開始</li> <li>◎チーム員会議</li> </ul>
認知症地域支援推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ケアパスの再チェック</li> <li>○社会資源の洗い出し、ネットワーク化</li> <li>◎ケア向上にかかる企画立案</li> </ul>
福祉課、 包括支援センターの認知症担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎各種組織の庶務、進行管理</li> <li>◎現状把握、実態把握、情報収集</li> <li>◎初期集中支援事業の受付窓口</li> <li>○ボランティア実行委員の調整</li> <li>◎啓発イベントの企画実行</li> <li>○行政組織内の各部署と連携 （◎防災、●男女共同参画、○町営住宅、●水道、○教委）</li> <li>◎研修会の企画</li> <li>◎社会資源の発掘・開拓</li> <li>○「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」への提案まとめ</li> </ul>
認知症施策検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症施策に関する重要事項</li> <li>○関係機関及び団体との連絡調整に関する事項</li> <li>◎認知症初期集中支援チーム活動状況に関する事項</li> <li>○その他町長が必要と認める事項</li> <li>○「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」への提案</li> </ul>

\* 平成29年11月29日現在の進捗状況 ◎完了、良好活動 ○一部活動、準備中 ●未着手



# 認知症施策検討委員会

原則、年最低2回開催（活動計画提案・承認と実績報告・評価）  
平成29年度3回開催、平成30年度2回開催

## 🚩 認知症施策検討委員会（定員10名）

- 1 特定医療法人浩洋会田中病院 院長 \* 門川町認知症囑託医
- 2 医療法人向洋会協和病院 院長 \* 認知症疾患センター長
- 3 京都橘大学 健康科科学部 作業療法学科 教授
- 4 九州保健福祉大学 社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科 教授
- 5 門川町議会議員 \* 文教厚生常任委員会 副委員長
- 6 門川町民生委員児童委員 \* 高齢者部会 部会長
- 7 認知症の人と家族の会 世話人
- 8 家族介護者、一般住民代表
- 9 看護専門職経験者、一般住民代表
- 10 門川町 町民課 課長補佐 \* 健康づくり係、保健師  
\* \_の方は、あて職



# 認知症地域支援推進員

原則、毎月第2火曜日開催  
平成29年度13回開催、平成30年度9回開催

🌈 認知症地域支援推進員（定員なし）任期3年

- 1 宮崎県済生会日向病院、社会福祉士、介護支援専門員
- 2 宮崎県済生会日向病院、看護師
- 3 宮崎県済生会日向病院、作業療法士、介護支援専門員
- 4 小規模多機能ホームこぼる
- 5 オレンジカフェいぶき
- 6 門川町居宅介護支援センター \*初代認知症担当
- 7 門川町地域包括支援センター 三職種・主任ケアマネ
- 8 門川町地域包括支援センター 三職種・看護師
- 9 門川町地域包括支援センター 三職種・社会福祉士
- 10 門川町地域包括支援センター \*認知症担当 \*推進員総括
- 11 門川町地域包括支援センター

1～6は、各種委員として辞令発令。包括職員は、職務に含む。



# 認知症ケアパス

2015年(H28)

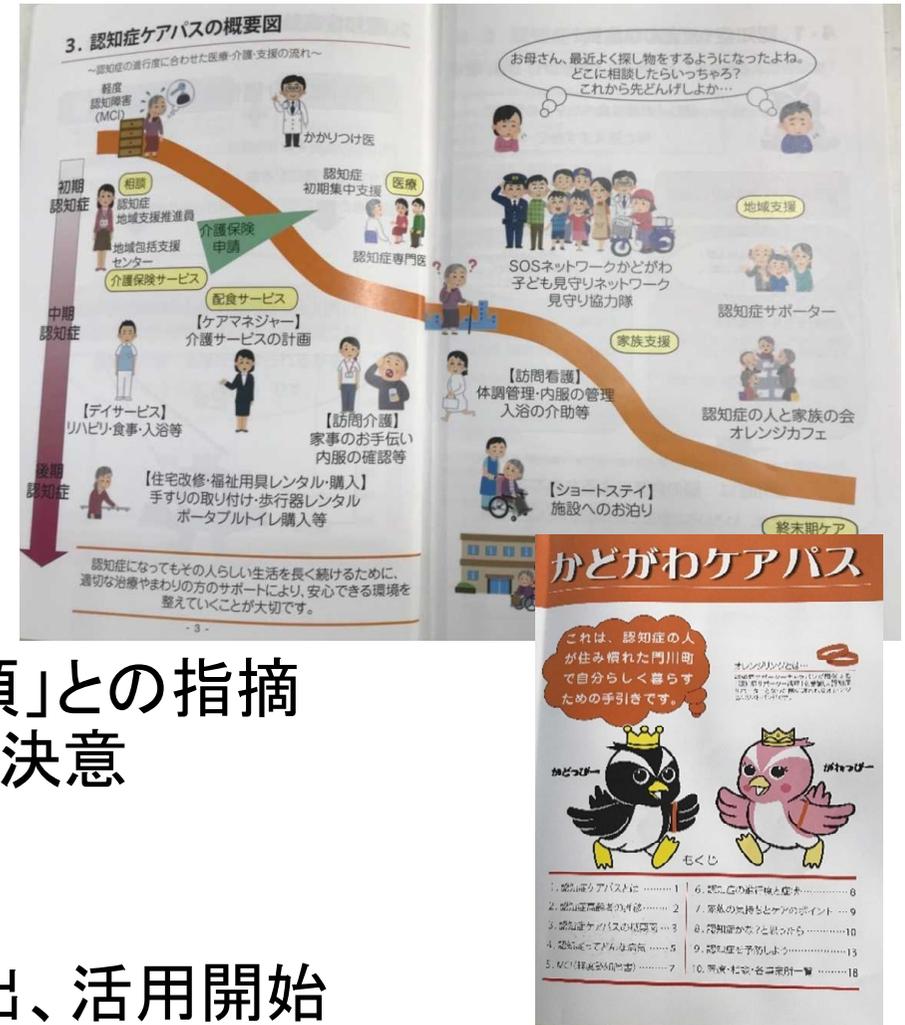
- 2・3月 研修受講者による伝達研修
- 4月 伝達研修受講者で素案を作成
- 5月 町内事業所連絡会で提示

2016年(H29)

- 4月 地域支援推進員会で再チェック
- 7月 平成29年度第2回合同会議  
認知症施策検討委員「最優先事項」との指摘
- 8月 地域支援推進会で再チャレンジを決意

2017年(H30)

- 3月 初版完成
- 4月 平成30年度第1回合同会議に提出、活用開始



平成29年度 門川町家族と地域の絆力事業

家庭や職場、地域で活かす  
**傾聴セミナー**

誰かに聴いてもらいたい、聴いてもらってスッキリした  
そんな経験はありませんか？

**参加費無料**  
(事前予約なし)

第1回 [日時] ▶▶▶ 11月12日(日) 午前10:00～正午  
[会場] ▶▶▶ 門川町役場3階会議室

第2回 [日時] ▶▶▶ 11月19日(日) 午前10:00～正午  
[会場] ▶▶▶ 門川町役場3階会議室

\*セミナーは2部構成で、第1回が講演会、第2回が実践入門です。

対等の立場で向き合い、相手の思いや気持ちに心を寄せ、  
耳を傾けて話を聴く「傾聴」に今関心が高まっています。  
家庭や地域のみならず、職場の会議やミーティング等、ビジネス  
スキルとしても注目される「傾聴」を学びませんか？



講師：モトサンチェズ・ミカ先生

セミナー終了後 個別相談・レッスンを実施いたします。

お問い合わせ TEL 0982-63-1140 門川町福祉課 介護福祉係  
TEL 0982-63-1129 門川町地域包括支援センター

\* 家族と地域の絆力事業は、高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進を図ることを目的として、宮崎県が取り組んでいる「健康長寿社会づくりプロジェクト」です。

# ケア向上にかかる企画

2016年(H29)

7月 平成29年度第2回合同会議  
傾聴ボランティア育成を提案  
認知症施策検討委員が承認  
条件を付して、福祉課で予算化

11月 第1回 傾聴セミナー開催  
第2回 傾聴セミナー開催

2017年(H30)

1月 第3回 会話記録実習開催  
4名の傾聴ボランティア誕生

# 講演会と相談会の組み合わせで 推進員の傾聴セミナーをバックアップ

平成29年度 門川町家族と地域の絆力事業

## 講演会・相談会のお知らせ

「最近、もの忘れがあって不安。」  
「専門家の話を聞いてみたい。」  
「誰かに悩みを聞いてほしい」



…そんなお悩みにお答えします。

認知症の簡易診断  
あります!!

講演会

「認知症の人にもやさしい  
まちづくり」

講師：小川 敬之 教授  
(九州保健福祉大学)



日時 9月27日水 19:00-20:00  
門川町役場 本館 3階会議室

相談会

医療と介護の専門職による

お悩み相談会

日時 10月7日土 14:00-16:00  
門川町役場 南別館1階会議室

\* 相談会の事前予約は必要ありません。お気軽にどうぞ。

好評につき、  
第2弾開催!!

平成29年度 門川町家族と地域の絆力事業

## 講演会・相談会

「最近、もの忘れがあって不安」  
「専門家の話を聞きたい」  
「誰かに悩みを聞いてほしい」



…そんなお悩みにお答えします。

講演会

「認知症の症状からまなぶ」

講師：二宮 嘉正 先生  
(協和病院 院長)  
(認知症疾患医療センター長)



日時 11月17日金 19:00-20:00  
門川町役場 本館 3階会議室

相談会

医療と介護の専門職による

お悩み相談会

日時 11月26日日 18:00-20:00  
門川町役場 南別館1階会議室

\* 相談会の事前予約は必要ありません。お気軽にどうぞ。

お問い合わせ

門川町 福祉課 介護福祉係 TEL:0982-63-1140(235)

お問い合わせ

門川町 福祉課 介護福祉係 TEL:0982-63-1140(235)

\* 家族と地域の絆力事業は、高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進を図ることを目的として、宮崎県が取り組んでいる「健康長寿社会づくりプロジェクト」です。



# 実態把握

・実人数 38人

(男16人60歳代～80歳代)(女22人50歳代～90歳代)

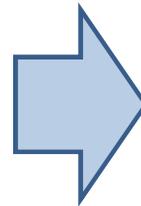
・延訪問回数 170回



・認知症初期集中支援チームへ  
11人

・介護保険申請 6人

・チェックリスト 2人



<振り返り>

・初期集中支援チームへの  
つなぎのタイミング

平成30年度

- ・民生委員、区長等の連携
- ・推進員との連携
- ・初期集中支援チームとの連携
- ・主治医との連携
- ・サポート医との連携
- ・包括3職種との連携
- ・生活支援コーディネーターとの連携

# 認知症初期集中支援チームとの関わり

- 案件提出
- チーム会議の出席
- 同行訪問
- 訪問、受診の調整
- 社会資源への繋
- 本人、家族の傾聴
- 介護保険申請、チェックリスト実施
- 日向市、宮崎市との意見交換会出席等



## <振り返り>

- 訪問回数
- チームへの繋のタイミング

## 平成30年度

- 民生委員、区長等の連携
- ケアマネージャーとの連携
- 主治医との連携
- サポート医との連携
- 包括3職種との連携
- 推進員との連携
- 生活支援コーディネーターとの連携

# 認知症サポーター養成講座

## 受講者

- ・門川高校1年生
- ・西栄町区区民
- ・総合メディカル株式会社
- ・あくたデイサービス職員
- ・梅ノ木地区区民



## <振り返り>

- ・若い人への周知不足

## 平成30年度

- ・区長、民生委員等との連携
- ・包括3職種との連携
- ・ケアパスの活用
- ・周知の方法
- ・サポーター活動等

# オレンジカフェ

毎週木曜日

10:00～12:00

参加者:15～20名(年400名超)

登録者数:50名

内容:うたごえ喫茶

:生活に役立つお話

:創作活動 等



## 平成30年度

- ・家族の集える場づくり
- ・ケアマネジャーとの連携
- ・民生委員、区長等との連携
- ・推進員との連携
- ・サポート医との連携
- ・初期集中支援チームとの連携
- ・生活支援コーディネーターとの連携

西栄町地区



地域みんなで

見守ろう



～SOS 高齢者等徘徊模擬訓練～

高齢者等が認知症などにより行方不明になった場合を想定し、地区住民や関係機関・団体と連携し搜索や声掛け訓練を行います。

★日 時：平成29年12月3日(日)

9時30分～12時00分

【雨天決行】受付/9:00～



★訓練場所：**西栄町地区** 集合場所/西栄町公民館

★問合せ先：門川町地域包括支援センター

TEL (0982)63-1129



認知症地域支援推進員報告書より抜粋

## 徘徊模擬訓練

<報告>

- 日時：平成29年12月3日(日)
- 9:35～12:05
- 場所：西栄町地区
- 参加：搜索者78名、
- 徘徊協力者13名、
- 来賓3名、福祉課5名、
- 社協13名 計112名

# 認知症初期集中支援チーム

サポート医と包括・福祉課の認知症担当者を交えたチーム員会議  
原則、毎週木曜日開催

平成29年度30回開催、平成30年度19回開催

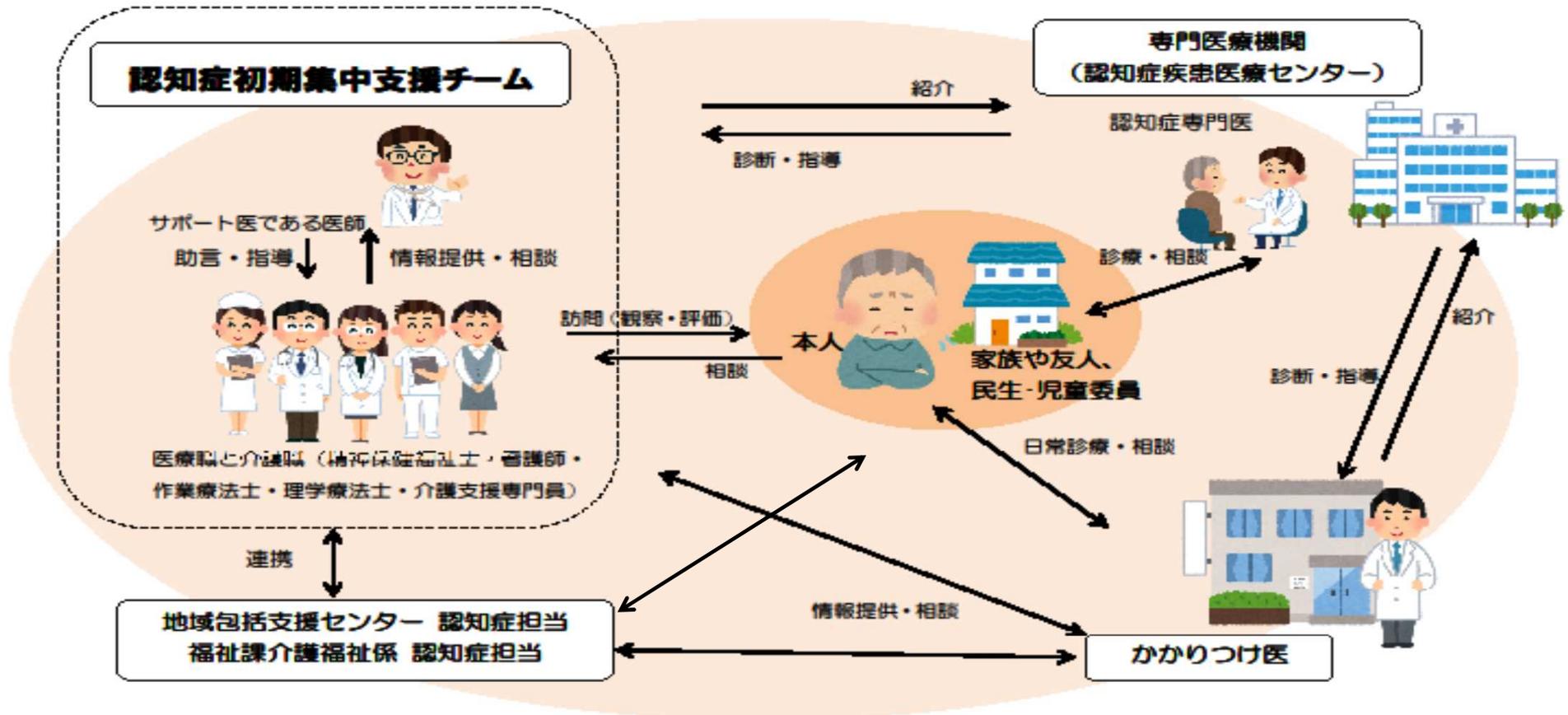
🌈 認知症初期集中支援チーム（定員なし）委託業務契約

- 1 特定医療法人浩洋会田中病院 認知症サポート医
- 2 特定医療法人浩洋会田中病院 理学療法士
- 3 特定医療法人浩洋会田中病院 作業療法士
- 4 特定医療法人浩洋会田中病院 看護師、介護支援専門員
- 5 特定医療法人浩洋会田中病院 看護師
- 6 特定医療法人浩洋会田中病院 臨床心理士、精神保健福祉士

- 相談件数 22件
- チーム介入件数 11件（男性7名、女性4名）
- 訪問回数 45回
- 支援期間 平均68.3日
- 診断 アルツハイマー型認知症9名、MC 12名
- その他の活動  
日向市、宮崎市のチーム員との意見交換会、各種研修会出席、  
模擬訓練参加、地区会長会・ケアマネ連絡会への啓発活動



## 門川町認知症初期集中支援チーム【イメージ図】



**まずは、ご相談ください**

**地域包括支援センター 63-1129 または 福祉課介護福祉係 63-1140 (内線 235)**

平成29年5月25日～6月15日

宮崎県地域包括ケアセミナー 認知症初期集中支援事業\_01

## 認知症初期集中支援チーム会議 受付案件

No.	年齢・性別	情報提供	状況把握	チーム会議	チーム会議	初回訪問	初回会議	支援要否	家族同意	受診干渉	認定申込	摘要（支援・見守りなど）
1	80代・男性	包括福祉課	包括、福祉課	書類提出	○	○	○	要	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子の理解、認識不足が見受けられる</li> <li>・妻の担当ケアマネと包括で見守り</li> </ul>
2	80代・男性	包括	包括	書類提出	○	○	○	要	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妻が理解あり、積極的に協力</li> <li>・7月に認定審査会</li> </ul>
3	80代・男性	サポート医包括	包括	書類提出	○	○	—		<ul style="list-style-type: none"> <li>・田中病院受診中であるが、単身独居、長女が遠隔地にあり、加療中のため包括で見守り</li> </ul>			
4	80代・女性	サポート医包括	包括	書類提出	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・田中病院受診中であるが、自傷行為の経験を有するため、サポート医と包括で見守り</li> <li>・町営住宅入居者であるため、町営住宅係と情報共有</li> </ul>			
5	80代・女性	包括	包括	書類提出	取下げ				<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉課で、高リスク・別途至急対応と判断し、取り下げ</li> <li>・現在、医療保護入院中</li> </ul>			
6	80代・男性	福祉課包括	包括	口頭報告	非該当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子（障害あり）の支援のため、包括と関わりあり夫婦ともに包括で見守り</li> <li>夫→認知症の人と家族の会、オレンジカフェの情報提供実施</li> <li>妻→認知症の服薬開始済み～サロン・高齢者クラブの情報提供実施</li> </ul>						
7	80代・女性											
8	90代・女性	福祉課	包括	口頭報告	非該当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の相談受け、福祉課が子を訪問した際には受診拒否とあったが、本人は受診の意思あり 包括に引継ぎ見守り</li> <li>・ベッド等のレンタルを開始し、住環境を整える</li> </ul>						
9	60代・女性	地域支援推進員	包括	口頭報告	非該当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自覚あり、受診・服薬済み</li> <li>・単身独居で元職場の後輩が支援、運転免許返上済み</li> <li>・オレンジカフェに通い、小規模多機能こぼるのボランティアにも参加</li> <li>・引き続き、地域支援推進員と支援者、包括で見守り</li> </ul>						

\* 上記のほか、地域支援推進員の紹介により、受診をした案件が2件あり。

(6月29日現在：福祉課介護福祉係)

(平成29年7月6日開催 第2回合同会議報告/了承分)

# 課題

1. 時間的制約
2. 関係機関との連携
3. 認知症地域支援推進員との連携
4. 地域の方に対する啓発
5. アセスメント



# 課題1

時間的制約



今年度より  
兼務体制

- ①訪問回数・時間の調整
- ②より柔軟な対応
- ③より密な関わり



本人の支援はもちろん  
家族・介護者にも十分かつ適切な助言や援助

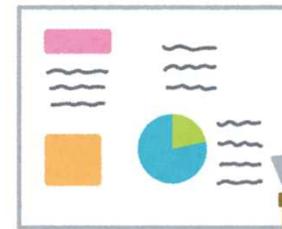
# 課題2

## ～関係機関との連携について～

活動報告・啓発活動



ケアマネ



ネットワーク・顔の見える関係性



かかりつけ医



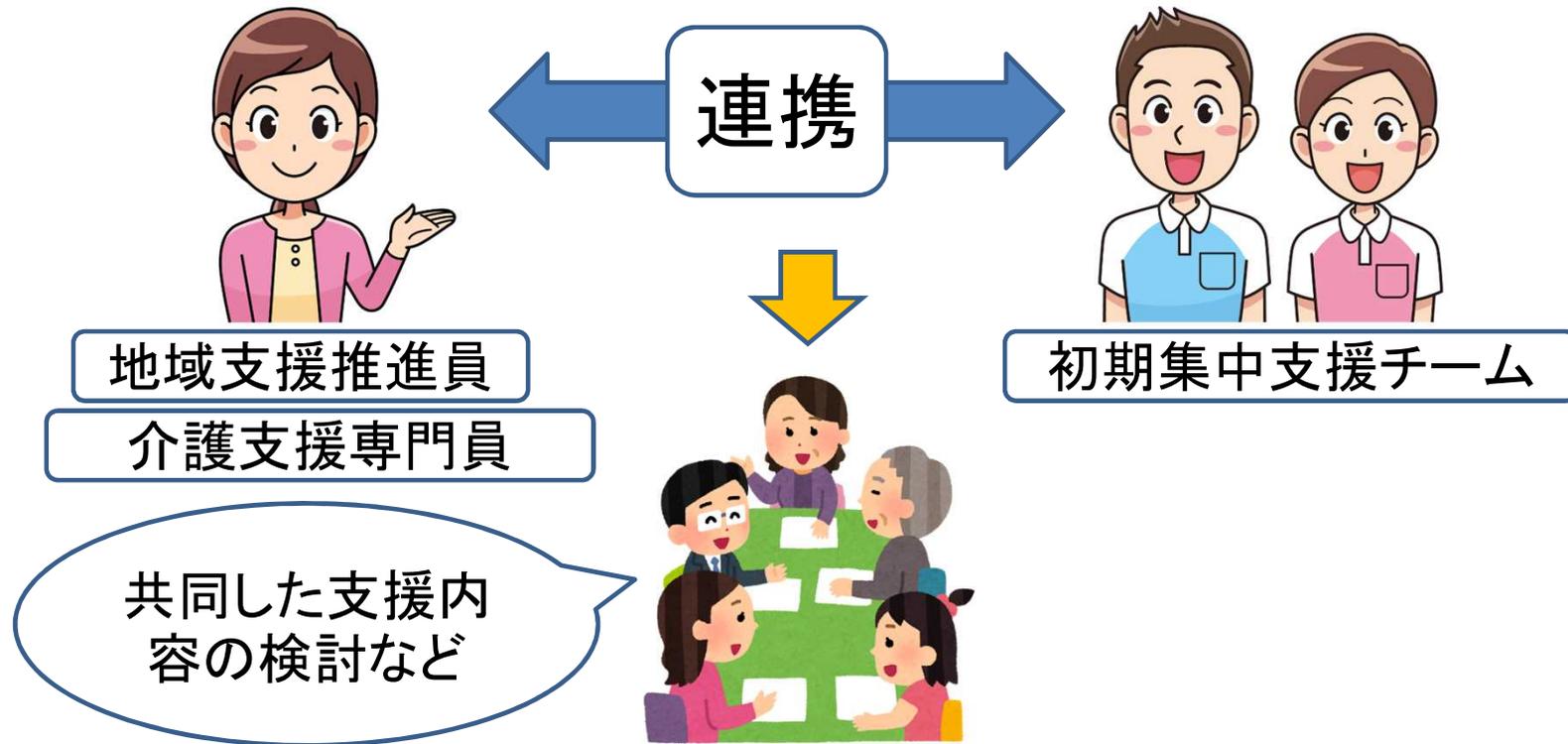
民生委員



介護保険サービス  
事業所

# 課題3

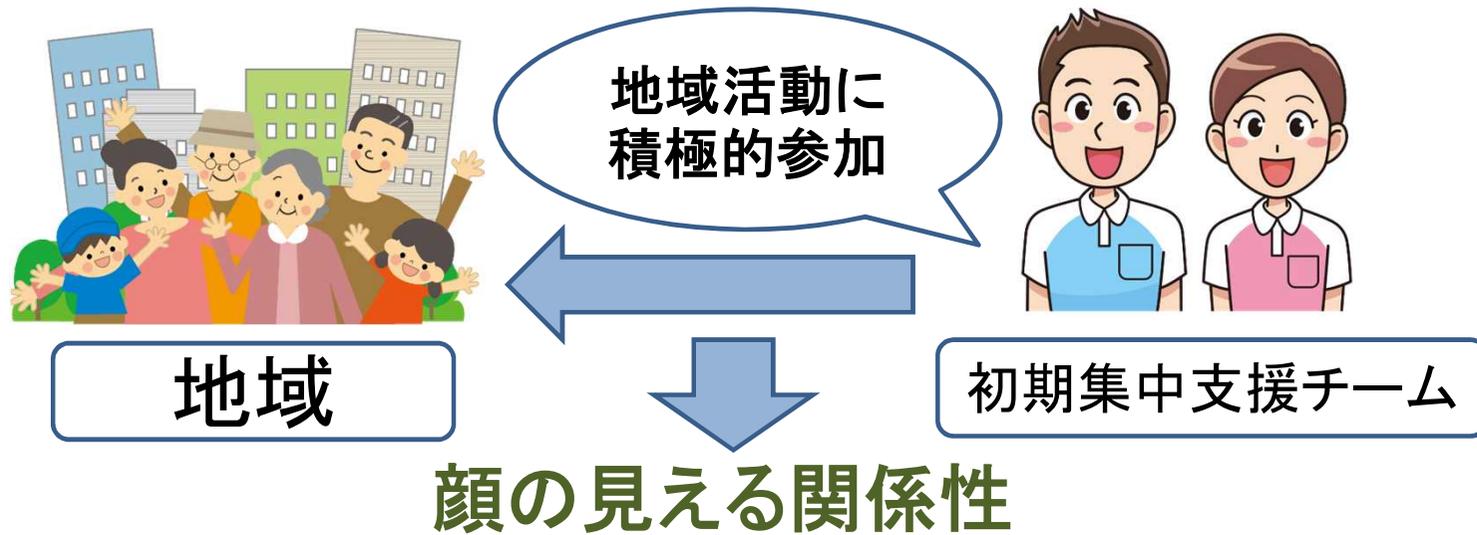
## ～認知症地域支援推進員との連携～



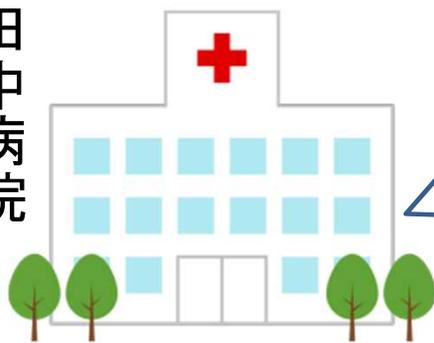
**一貫性のある支援体制構築**

# 課題4

## ～地域の方に対する啓発について～



田中病院



紅葉祭などのイベントを活用し、地域に向けて初期集中支援チームをアピールできないか検討中

# 課題5

## ～アセスメント表について～



アセスメント表  
DASC、zarit、DBDなど

合計点数に判断基準が  
ないものが多い



初回と終了時にアセスメント表を用い比較検討

点数の変化が視覚的に把握

前に進むだけでなく実施してきたことを見直  
していくことも重要

# おわりに

1年の活動を通して様々な課題

時間をかけて確実に取り組める体制を整えるために…

## シラバスの作成

いつ、何をすべきか 具体的な取り組みを計画

これまで以上に

対象者や家族、介護者に寄り添った支援

関係機関との連携構築に努め

期待に応えられるチームを目指して…

# 平成29年度、認知症施策元年!! 認知症総合支援事業

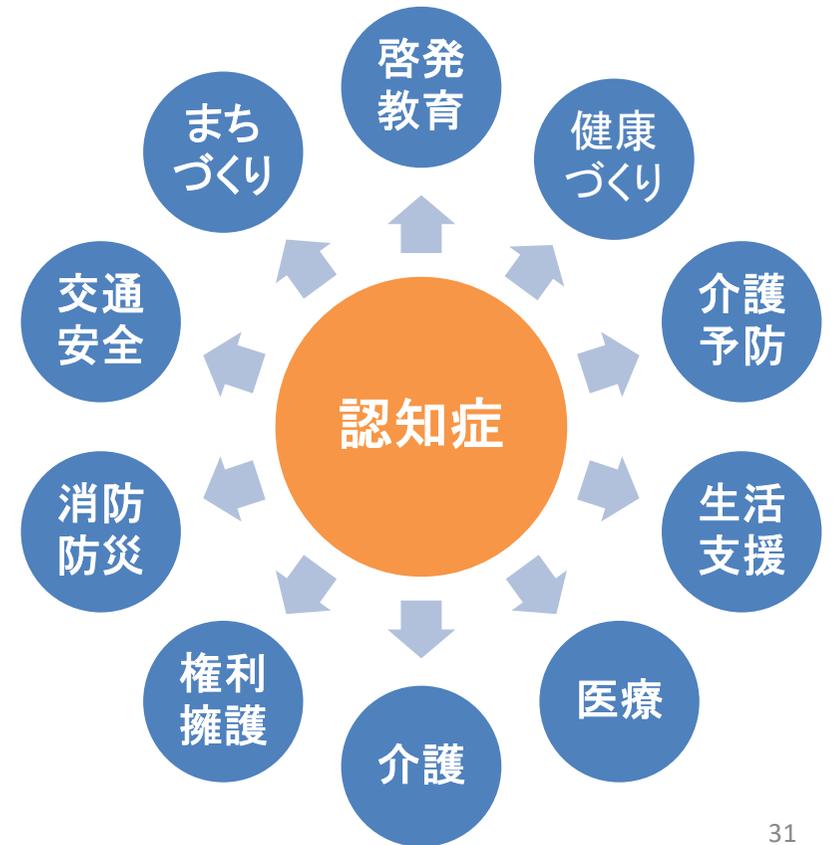
認知症  
早期発見・早期対応が 人を救う、地域を救う

## 門川町認知症総合支援事業

認知症初期集中支援事業

認知症地域支援・ケア向上事業

忘れた人も、忘れかけた人も、忘れたくない人も、  
ともに暮らせる地域づくり



# 門川町の認知症の取り組み

- SOSネットワーク
- 高齢者見守り
- 徘徊模擬訓練
- オレンジカフェ
- RUN伴
- 家族と地域の絆  
力事業後援会  
「認知症講座」  
「認知症  
それがどうした!!」
- ケアパス素案作り

2015・2016

- 県政番組出演
- 認知症施策検討委員会稼働
- 認知症初期集中支援チーム稼働
- 認知症地域支援推進員稼働
- やっちみろや健康巡回講座
- 図書館認知症月間展示
- 傾聴ボランティア育成講座
- 「認知症を知る」講演会
- 「認知症とともに生きる」講演会
- 認知症個別相談会
- 在宅医療座談会  
「認知症でも地域で暮らすために」
- 認知機能低下予防で多世代連携  
「つながれ!!かどがわ」
- ねんりん教室認知症講話
- 目からウロコの上映会&講演会
- ケアパス完成

2017

- ケアパス配布、アンケート実施
- サポーターの育成と組織作り
- 初期集中支援チームの勉強会
- 初期集中支援チームによるチェックシート作成
- 図書館わいわい講座
- 認知症で医療介護連携  
「本人本位のケア」多職種研修会
- 人生100年時代の生き方支援  
「あなたは介護保険を使いますか」
- 映画上映会 in いきいきまちフェスティバル「キセキの葉書」
- 家庭教育学級
- 防災講演会「被災時認知症高齢者はどうしていた」

2018

## 高齢者が安心してくらせる町

「高齢者見守り」と「SOS ネットワークかどがわ」 二つの事業が始まりました

2015年12月1日施行

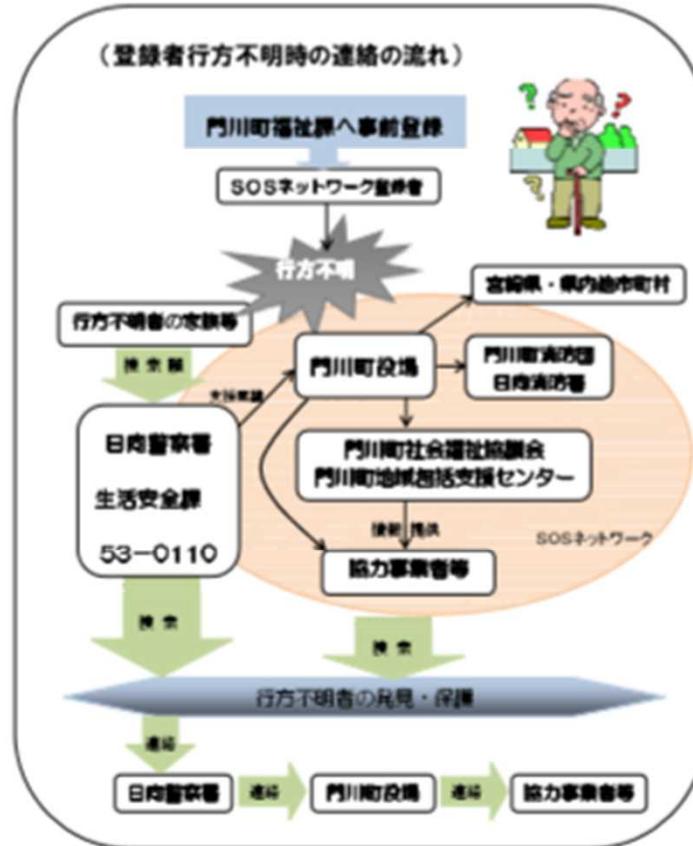
### 平常時

「高齢者見守り活動」 日常の声かけや見守りを行います。



### 緊急時

「SOSネットワークかどがわ」に情報が発信されます。



- 「SOSネットワークかどがわ」とは  
認知症による徘徊高齢者または徘徊のおそれのある高齢者等が行方不明になった場合に、その方を見守り・保護できるよう、町内の協力事業者等と連携するしくみです。
- 「事前登録制」  
認知症により徘徊のおそれのある高齢者等の情報を、家族等があらかじめ登録することにより、早期発見・早期保護を目指します。
- 「代行登録」できます  
家族の方に代わって、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者および介護保険施設等の職員が代行手続きできます。

「介護保険が始まる前は  
ヒヤヒヤしたとよ」

またそんな時代が  
やってくる前に

**高齢者見守り  
SOSネットワーク**

\*\*\*「高齢者見守り」と「SOS ネットワークかどがわ」、いずれも協力事業者・団体・個人を募集しています。\*\*\*  
【お問い合わせ先】 門川町福祉課 介護福祉係 ☎63-1140 (内線235)

「認知症図書館、いいよね。声かける？」  
図書館も迷っていたので、つながった

2016年より毎年9月開催 町立図書館と協働

# 図書館 アルツハイマー月間の展示



2016年 家族と地域の絆力事業

2016年4月一般高齢者介護事業メニュー追加

有酸素運動は認知機能低下防止によい

# ノルディック・ウォーキングで介護予防



2017年 町民課・包括・福祉課協働実施

2018年 町民課健康づくり係継続実施

健康づくり係とつながる

やっちみろや健康巡回講座

メタボリックドミノ 将来の介護予防



しなやかな血管  
正常な血圧維持で  
予防できる認知症もある

健康づくり係 → メタボリックドミノ

包括認知症担当 → 認知症について

福祉課認知症担当 → いきいきと生きていくために





2016年10月 町内介護事業所とお試し会実施

2017年4月 一般高齢者介護事業メニュー追加

# スクエア・ステップで介護予防

## ダブルタスクは認知機能低下予防に効く



2017年12月 一般介護予防事業普及啓発事業で実施



**つなぐれ!!かどがわ**  
～スクエアステップで世代間交流～

参加費無料!

12/2(土)

★3世代でクリアするとすべてのキャラクターと集合記念撮影!!

会いに来て!!  
おいらの仲間たちも集まるっぴい

# スクエア・ステップで 多世代交流 認知機能低下予防の体操で 未来の福祉人材と高齢者をつなぐ 「つなぐれ!!かどがわ」

どんなことも一歩から。手を取り合って笑顔でワンステップ★

**第1弾 講話** 時間 13:00~14:20 (講話のみの参加可)  
場所 門川町総合文化会館 ※講話内容は中学生以上を対象としています。  
内容 「認知症と運動機能について」 協和病院 院長 二宮 嘉正 氏  
「Let's スクエアステップ」 鹿屋体育大学 教授 中垣内 真樹 氏

**第2弾 体験** 時間 14:30~15:30 (体験のみの参加可)  
場所 クリエイティブセンター門川  
内容 スクエアステップ

\*協力し合ってLet'sステップ!  
\*子供から大人まで、だれでも楽しめるステップ♪

※マットに書かれた番号にそって、ステップを踏みます♪



かどびーるわんわんも出演!!  
家族やお友達と遊びに来てね♪



どなたでも参加可!!  
チャレンジ成功でポイントゲット!!  
ポイントを集めると素敵な景品がもらえるっぴい

主催 : 門川町・門川町社会福祉協議会  
お問い合わせ先 : 門川町地域包括支援センター 63-1129



九州保険福祉大学の学生、門川高校の生徒と協働し、スクエアステップの交流会を開催。認知症と介護予防の講演会も、多世代でいっしょに聴講。三世代で参加した高齢者も多数。

2017年5月から在宅医療・介護連携推進事業で実施

# 済生会日向病院とつながり、小さな在宅医療・介護連携 ご存じですか？「在宅医療」 ～認知症になっても地域で暮らし続けるために～



訪問診療医と医療専門職、福祉課で、1時間の座談会  
4月から12月まで開催 延べ100名参加



～認知症になっても地域で暮らし続けるために～  
**目からウロコの認知症理解！！**  
**映画上映会&講演会**



参加者212名  
(一般155名、医療介護専門職47名、ボランティア10名)



## 認知症施策と連携が必要な部署や機関

### 地域交通

- ・コミバス
- ・代替交通

### 県警

- ・高齢者免許
- ・消費者被害

### 健康増進

- ・健康づくり
- ・疾病対策

### スポーツ振興

- ・生涯スポーツ
- ・ロコモ

and more...

### 子ども支援

- ・母子
- ・貧困

### 高齢者対策

- ・いきがい
- ・権利擁護

### 介護保険

- ・地域ケア会議
- ・介護予防
- ・認知症
- ・生活支援
- ・医療介護連携

### 国保

- ・医師確保
- ・地域医療構想

### 消防

- ・認知症見守り
- ・在宅救急連携

### 税

- ・非課税世帯

### 生涯教育

- ・いきがい
- ・地域コミュニティ

### 医療政策

- ・医師確保
- ・地域医療構想

### 危機管理

- ・災害弱者

### 商業

- ・商店街活性化
- ・買い物弱者

### 都市計画・建設

- ・コンパクトシティ
- ・空き屋対策

### 生活保護

- ・生活困窮

### 障がい者福祉

- ・自立支援
- ・永続的支援

### 水道

- ・メーター検診時の見守り

2017年度3月まちづくり推進課事業

町で運行している「かどっぴータクシー」  
を無料で使用できる回数券20枚を免許証  
返納時に手渡しする。  
「かどっぴータクシー」は、町内を巡回  
する乗り合いタクシーで、運行距離に応じ  
100円、200円、600円のコースがある。



まちづくり推進課が  
日向警察署とつながる

**高齢者運転免許自主返納支援事業**

## 新オレンジプランの7つの柱

○「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を推進していくため、以下の7つの柱に沿って、施策を総合的に推進していきます。

### 認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進

I 普及・啓発

II 医療・介護等

III 若年性認知症

IV 介護者支援

V 認知症など高齢者に  
やさしい地域づくり

VI 研究開発

VII 認知症の人やご家族の視点の重視

「VII 認知症の人やご家族の視点の重視」は、他の6つの柱に共通するプラン全体の理念でもあります。



# 第3回九州厚生局地域包括ケアセミナー

- **今回のテーマ**

**地域における社会資源との連携について  
～認知症を地域全で支え合う地域づくり～**

- **目的**

**認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域住民や関係機関等との連携は不可欠である。**

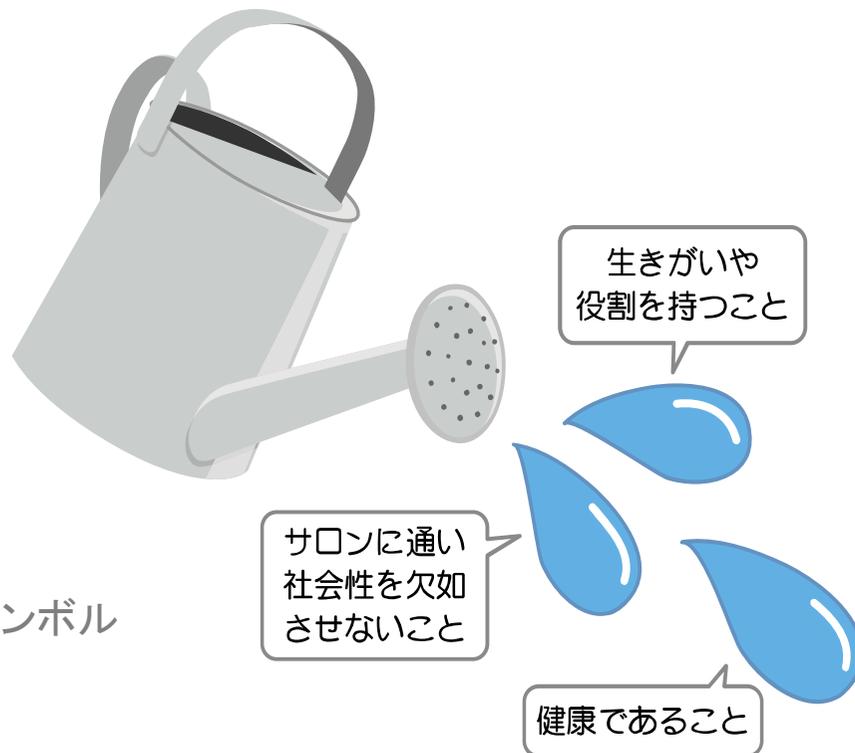
**地域における限られた社会資源を活用し、認知症の人とその家族の支援に繋げる地域づくりの構築を考える。**

# 地域でお話ししていること

- 地域における社会資源が連携するしかない  
～認知症で、地域全体が支え合える地域づくり～
- 地域の限られた社会資源を洗い出し、よく知り、組み合わせ、  
認知症の人とその家族を支援できるしくみをつくる
- 認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して、自分  
らしく、暮らし続けられる地域は、みんなにやさしい

# 認知症で地域づくり

第7期計画の認知症施策のシンボル  
目指す姿

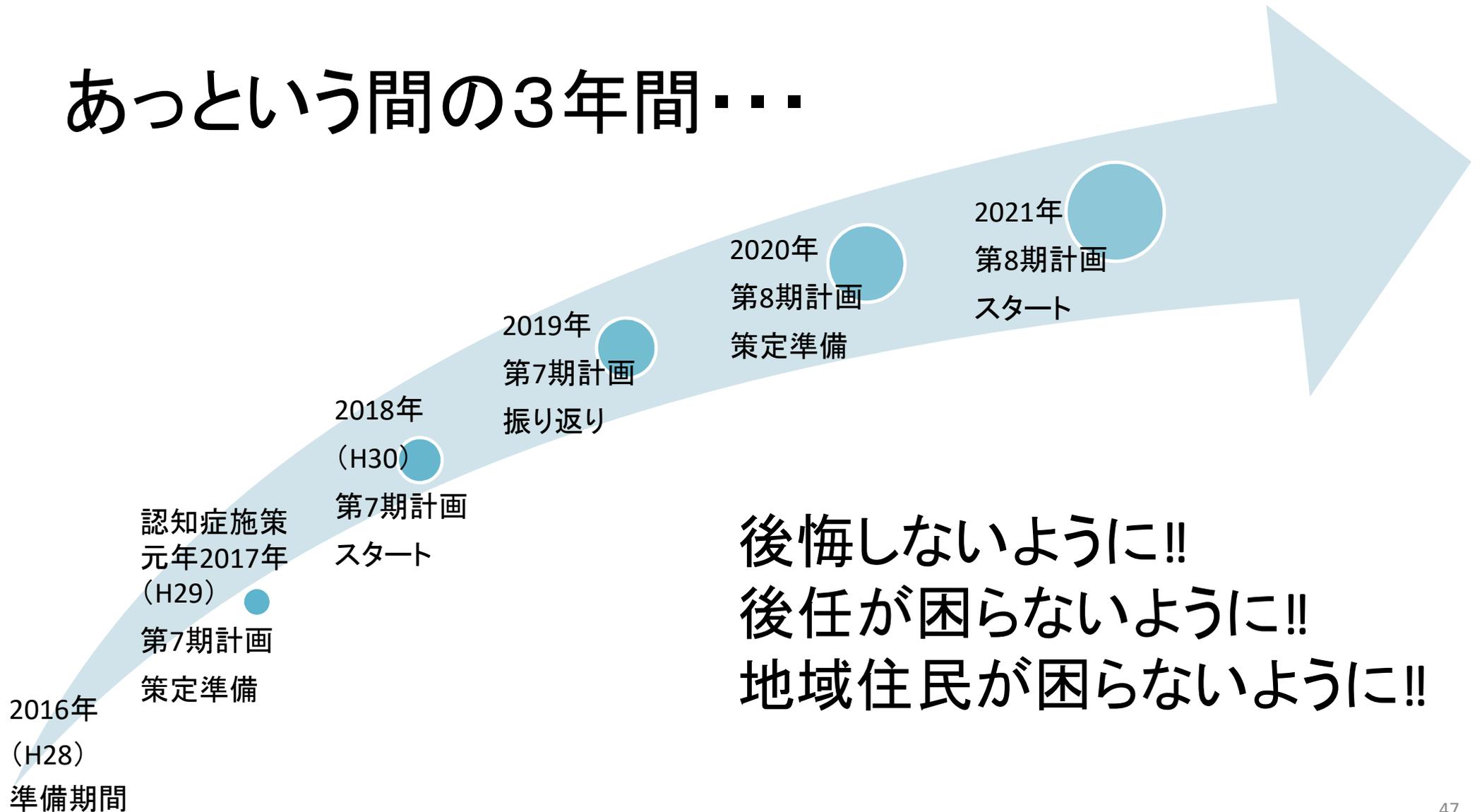


病気になってもご近所の見守り  
や医療・介護の支援があり、暮  
らし続けられる地域



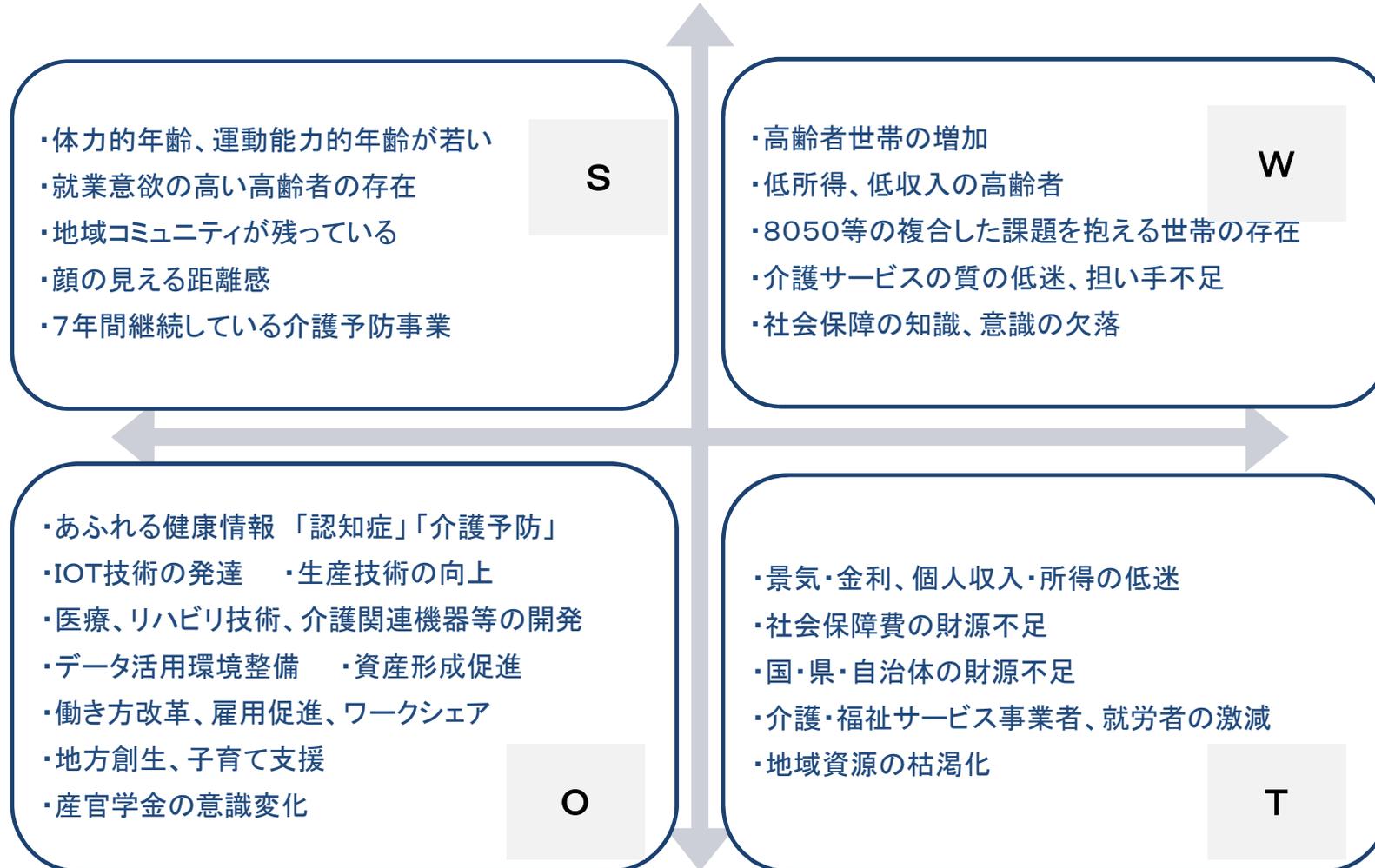
地域のつながり

# あっという間の3年間・・・



後悔しないように!!  
後任が困らないように!!  
地域住民が困らないように!!

# SWOT分析（門川町）



# クロスSWOT分析（門川町）

	強み Strengths	弱み Weaknesses
機会 Opportunities	<p>【S×O】</p> <p><b>排他的攻めの戦略</b> チャンスを最大限に活かして 他と差をつけよう!!</p>	<p>【W×O】</p> <p><b>焦らずじっくり戦略</b> せっかくのチャンスを 取りこぼさないためには!!</p>
脅威 Threats	<p>【S×T】</p> <p><b>差別化戦略</b> 他市町村には脅威でも、 強みでチャンスにするには!!</p>	<p>【W×T】</p> <p><b>撤退戦略</b> 最悪の結果を招かないための リスク管理!!</p>

# 認知症施策 ①クロスSWOT分析

	強み Strengths	弱み Weaknesses
機会 Opportunities	<p>【S×O】排他的攻めの戦略 チャンスを最大限に活かし他と差をつけよう!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般介護予防とコラボ 「下肢筋力は強いが認知機能の低下は…」 早めの認知機能低下予防の開始。</li> <li>●健康づくり施策とコラボ 溢れる健康情報の中から、正しい知識の醸成。</li> <li>●医療と介護の連携 「負の相乗効果」「現在・未来のリスク低減」</li> </ul>	<p>【W×O】焦らずじっくり戦略 せつかくのチャンスを取りこぼさないためには!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症で「丸ごと」 産学官金、地方創生、働き方改革何でもコラボ。 課題の共有。やるか、やらないか。 何ができるのか、何をするのか。 課題解決能力を高める。</li> <li>●リスクの先取り 複数の課題を抱える高齢者、問題が複雑化した 高齢者が増えることのリスク管理。 解決能力を高めた「丸ごと」地域資源とコラボ。</li> </ul>
脅威 Threats	<p>【S×T】差別化戦略 他には脅威でも、強みでチャンスにするには!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症を「我が事」に 「医療・介護・行政」核となる組織と地域住民 「個人」の課題意識の共有。 【供感】で人を動かす。動く人を見つける。</li> <li>●インセンティブ交付金等財源確保 確保できる財源は、できる限りゲットする。</li> </ul>	<p>【W×T】撤退戦略 最悪の結果を招かないための リスク管理!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●むやみに施設を増やさない 担い手は確実に減る。 地域住民に期待させ、失望させない。 10年後に施設の「空き家」を出さない。 専門職のスキルアップを図る。 チームプレー力の強化。 財源や担い手を地域で支える方に仕向ける。</li> </ul>

## 寄せられた課題や疑問、困りごと( 居宅介護支援事業所 )

No	課題や疑問、困りごとの内容	解決策
1	介護サービス事業所の人材不足(定数でなく、人手不足)の理由で本人・家族の希望に応じた事業所を選択できない。	【S×T】 【W×T】 地域ケア会議
2	サービス事業所のサービス内容のマンネリ化。 個別な対応ができていないように感じる。	【S×T】 【W×T】 地域ケア会議
3	情報交換の場がない。介護事業所が一斉に集まることがない。 → 一昨年、町内の介護事業所を集めて「事業所連絡会」の立ち上げをご依頼するも、実現していません。機が熟したのではないのでしょうか。検討ください。	包括提案待ち 福祉課企画
4	ケアマネの精神的負担の相談の場があるとよいと思う。 → ケアマネに限らず「ケアする人のケア」は昨年末からの課題です。 包括が行う包括的ケアマネジメント業務の一環として、検討ください。	包括提案待ち 福祉課企画
5	受診の足がない。 → 生活支援コーディネーター から 支えあう協議体での協議経過・結果を提出予定とのこと。	【S×O】 【S×T】 地域ケア会議
6	町内の乗合タクシーがあるが、停留所までいけない。 利用方法が理解できていない人も多く個別対応があると良い。 → 実態が把握できていません。詳細な情報を提供してください。 生活支援コーディネーターを核に、検討を進めてください。	【S×O】 【S×T】 地域ケア会議

# 利用者の生活を支えるために “連携”の中心に何を視る必要があるのか



講師：稲松真人氏  
兵庫県対人援助研究所 主宰。  
(フリーランス講師・スーパーバイザー)

## 開催趣旨から抜粋

～町で、すでに始まっている人材不足等の課題を鑑み、現在及び将来のリスクを軽減するためにも、分野・組織・職種などを超えた、連携によるチームプレーが必須です。高齢者を支える医療、介護、福祉の専門職、自治体職員も含め、関係者は、その役割を果たしているでしょうか。自らの職種役割を全うしつつ、他職種を理解し、関係性を築きながら、チームプレーで、高齢者を支えられているでしょうか。医療、介護の多職種の皆さんに、多職種連携（チームプレーで支援すること）の理解を深めていただき、さらに、多職種連携が力を発揮する認知症のアセスメント力を高めるために、本研修会を企画いたします。～

## ☆夜の部 専門職向け研修 60名参加

ケアマネを中心に呼びかけたものの、福祉用具事業所、ボランティア、ノルディック・スクエアステップインストラクターまで集まった。もちろん、医療職も参加。

## ☆昼の部 一般向け研修 70名参加

「あなたは介護保険をつかいますか？」<sup>52</sup>

～2年間を振り返って～担当者所感



# 地域の力はすごい

## ○境界をなくそう!!

### 固定化した役割

例:支える側と支えられる側、委託者と受託者  
行政と事業所 など

### 固定化した思考

例:分野、所管、制度、市町村域 など

### 一方的な思考

例:「何もない」「無理やろ」 など

## ○見～つけたを増やそう!!

例:キーマン、仲間、すき間、 など

## ○立ち話から始まる?

例:「聞いて聞いて」「困ったとよ」 など